



心のバリアフリー授業

本校では、障害の有無に関わらず、自分や相手を理解し、認め合い、思いやりの心をもって関わり合う共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリー授業（障害理解授業）」を推進しています。



今年度は、12校の学校で30回実施しました。

小学校等の依頼に応じて本校の職員が出向き、実施する学校の先生たちと一緒に授業を行っています。事前に打合せを行い、内容を検討したり役割分担したりしながら、よりよい授業を目指しています。

<令和7年度 授業を行った学校>（実施順）

井川義務教育学校（1年、3年、5年）

五城目小学校（1年、2年、6年）

船川第一小学校（1年、2年、6年）※居住地校交流事前含む

追分小学校（3年、6年）※学校間・居住地校交流事前

飯田川小学校（1年、2年、3年、6年）

八郎瀧小学校（1年、2年、6年）

美里小学校（1年、2年、6年）

飯島南小学校（1年）※居住地校交流事前

脇本第一小学校（1年、2年、6年）

船越小学校（1年）※居住地校交流事前

天王小学校（1年、2年、6年）

土崎小学校（4年）



授業後に寄せられた絵より
1年生 ふわふわことばで
フラフープリレー



子どもたちの感想より

フラフープリレーで、ともだちにふわふわことばをいってもらってうれしかったです。ぼくももだちにふわふわことばをいったら、うれしいきもちになりました。

身の回りにはたくさんのおんげがあつてどの人も使いやすくなっていることを知りました。

自分は漢字を書くのが苦手です。タブレットや音声入力を使うと少し便利になると知りました。いろいろな人の感じ方のちがいを認め合えるようになりたいと思いました。

先生たちのアンケートより

年齢に合った内容で、子どもたちにもすつと入っていました。体験する時間もあって、楽しく取り組めていました。

授業で活用した掲示を教室に貼り、日常的に「ふわふわ行動だね」と声を掛けています。帰りの会で「今日のふわふわさん」コーナーを作りました。

授業後、友達との会話の中で「苦手だから」「不安になるかも…」といった言葉が使われ、表現の仕方に気を付けて生活している様子が見られました。

※ 取組の詳細（小学校3・4年生の授業の実際）等については、次のページで紹介します。

巡回学校展の展示

心のバリアフリー授業を実施する学校には、本校の巡回学校展を展示させていただいています。見て、触れて、本校の生徒たちの頑張りを知る機会にできればと、心のバリアフリー授業の中でも話題にしています。「展示を見た人？」と聞くと、毎回ほぼ全員が手を挙げ、「すごかった」「丁寧だった」「ほしくなった」「自分も作ってみたい」などの感想をたくさん話してくれます。相手のよ



さや頑張りを知ることから、理解する、認めることに少しずつつながっていくことを目指しつつ、巡回学校展の展示も、心のバリアフリー授業と共に、引き続き行っています。

小学校3・4年生の心のバリアフリー授業の実際について

自分も含めて人には得意なことや苦手なことがあります、それらは人それぞれ違うことを理解すること、認め合うことに向けて、小学校3、4年生を対象とした心のバリアフリー授業の依頼がありました。

まずは…

＜事前に実施校の担任の先生方と相談、打合せ＞

事前に、本校職員が実施校に伺い、担任の先生方と、授業のねらいや内容等について相談をしました。お子さんたちの様子に合わせて、教材を検討したり、先生方と役割分担をしたりして打合せを行いました。



＜心のバリアフリー授業の実施＞

授業の流れの一例

- 1 絵本の紹介
- 2 みんなの好きなこと、苦手なことは？
- 3 みんなでチャレンジ
〇〇ちゃんの気持ちと一緒に楽しむ方法を考えよう！

絵本「好きなこと にがてなこと」の紹介

この絵本は、ある児童の好きなことと苦手なことの紹介からスタートします。苦手なことを得意な友達が支えてくれ、人の好きなことと苦手なことがつながっていくという話です。みなさん、じっと見聞きした後、次のような感想がありました。

- ・好きなことや苦手なことが人によって違うのも、個性だと思った。
- ・苦手なことを、他の人が助けていて、いいな～と思った。
- ・自分の得意なことを、他の人の苦手なことにつかっけていて、優しいなと思った。 など

好きなこと、苦手なことは？

「仕事が好きな人？」「発表することが好きな人？」など、絵本の中に出てきた活動が好きか、苦手かを聞き、挙手してもらいました。「すごく好き」と両手を挙げたり、「少し苦手」と小さく手を挙げたりと、好き苦手の度合いも工夫して表現する姿がありました。人によって好きなことや苦手なことが違うだけでなく、その度合いも人それぞれであることを確認し合いました。



〇〇ちゃんの気持ちや一緒に楽しむ方法を考えよう

掃除が得意で、話をすることが苦手な架空の友達〇〇ちゃんのことを考える活動を行いました。休み時間に、おにごっこに誘うと、首を振り、にこにこみんなを見ている〇〇ちゃん。おにごっこをしない理由や、一緒におにごっこを楽しむためにできそうなことをグループで話し合いました。



《どうしておにごっこをしないのかな?》

- ・「私がおにだよ」と話をするのが苦手だからかな。でも、にこにこ見ているから、友達のことは好きなのかな。
- ・見ている方が楽しいのかな。
- ・他の遊びがしたいのかな。などなど…

《一緒におにごっこを楽しむためには?》

- ・おにごっこの楽しさを教える。
- ・無理に話さなくていいよと声を掛けて誘う。
- ・〇〇ちゃんの得意なことを入れる。雑巾がけおにごっこか。
- ・やりたいおにごっこの種類を紙に書いて、〇〇ちゃんに聞く。
- ・走るのが苦手なのかもしれないから、こおりおにとか、見て休めるおにごっこにする。
- ・〇〇ちゃんができそうなルールを考える。
などなど…



出てきた意見を担任の先生が板書し、事後につなげていただきました。

<授業後の感想より(一部を紹介します)>

児童のみなさんから

- ・苦手なことは、悪いことではないことが分かりました。みんなそれぞれ違うことがあるけれど、人のいやな言葉を言わないと、みんな仲良くなれるのかなと思いました。
- ・〇〇ちゃんは、どう思っているんだろう、どうすればいいんだろうと、たくさん考えました。〇〇ちゃんは、あの後、どうなったのだろうと思いました。
- ・みんなの意見は、〇〇ちゃんのことをしっかり考えていいなと思いました。いろいろな意見が出て、「なるほどな」と思いました。
- ・話すことが苦手な人がいたら、みんなで考えたように優しく接したいと思いました。

担任の先生から

- ・友達が苦手なことでも頑張っているところを見付けようとする様子が見られました。
- ・身近な例をもとに考えたり、話し合ったりして、自分のこととして学習することができました。今後、総合的な学習の時間において、バリアフリーについての調べ学習を進めていく予定です。

授業後、アンケートを通して、実施校の先生方から、お気づきのことなどをいただいています。参考にさせていただきながら、今後も一緒に授業づくりを進めていきたいと思ひます。

高校生のボランティア講座

本校では、理解推進の一つとして高校生を対象としたボランティア講座(講義とボランティア体験)を行っています。

今年度は、運動会予行(運動会は延期のため予行のみ)、青年学級、学園祭の機会に開催しました。3校の高等学校から、延べ32人の高校生が参加しました。ボランティア講座は講義とボランティア体験をセットで行うようにしており、終了後は一人一人に受講証を渡しています。

ボランティアとして活動してもらうことももちろんありがたいですが、本校のこと、本校の児童生徒のことを知っていただくための貴重な機会と捉えて実施しています。高等学校の先生からも、高校生にとってよい学びになっているとの感想をいただいています。



高校生の感想より

一人一人得意なこと、苦手なことがあって、それを理解しながら動く、という講義から、それを意識して動いたり接したりすることができました。

今回の講義を聞いて、人にはそれぞれ得意、不得意があり、それがその人らしさにつながっているということが分かりました。苦手なことは誰にでもあると思うので、つらいときに寄り添ってあげられるよう、相手を知ることが大切だと改めて感じました。

貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。みなさんと楽しい時間を過ごせてよかったです。みなさんとお話をしたりスポーツを一緒にしたりする中で、どんなふうに声を掛ければいいのかなど、学ぶことがたくさんありました。



このほか、ボランティア体験を通して自分自身が楽しむことができた、という感想を多くいただいています。

また、学園祭では、用具の撤去や運搬の合間に、ステージ発表を見学してもらいました。「完成度が高く感動しました。」「たくさん練習したことが伝わりました。」「頑張る姿に勇気づけられました。」「とてもステキで楽しかったです。」など、ステージ発表のクオリティの高さや一人一人の頑張る姿に感銘を受けた感想をたくさんいただきました。



前号と一緒にアンケート(地域支援だより「アシスト」の掲載内容について)をお願いしたところ、各校の特別支援教育コーディネーターの方々からたくさんの回答をいただいております。いただいたご意見を参考に、次年度の「アシスト」そしてセンター的機能に役立てたいと思います。ご協力ありがとうございました。



秋田県立支援学校天王みどり学園

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

教頭:渡部 陽子 教育専門監:小野 直子 支援部:遠藤 美和子

特別支援教育地域センター(男鹿市立船川第一小学校内):月・水・金

TEL:0185-24-3231

特別支援教育アドバイザー:小松 美幸